

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-217896  
 (43)Date of publication of application : 02.08.2002

(51)Int.Cl. H04L 9/16  
 G06F 12/14  
 G09C 1/00  
 H04L 9/10

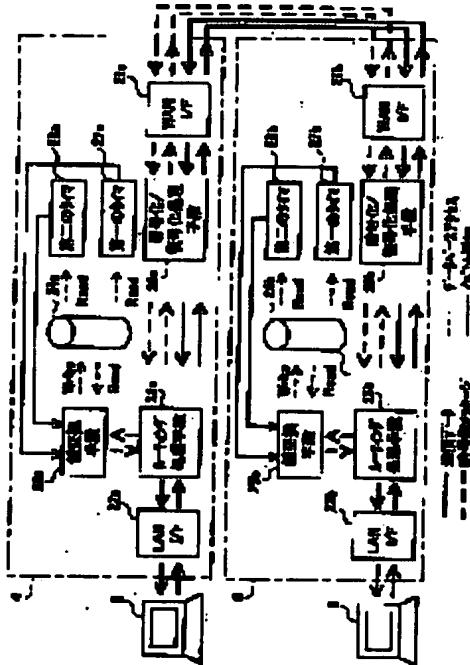
(21)Application number : 2001-015078 (71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD  
 (22)Date of filing : 23.01.2001 (72)Inventor : HOSHIDA MASAAKI

## (54) METHOD FOR CIPHER COMMUNICATION AND GATEWAY DEVICE

## (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To secure the confidentiality and secrecy of communication data by exchanging a cryptographic key in a single session, while utilizing the standard protocols of the Internet, etc.

**SOLUTION:** The term of validity of a cryptographic key in a single session is defined. Then, a communication time is managed by using first timers 27a, 27b or the like. When the expiration of the validity of the cryptographic key comes near, key-exchanging means 25a and 25b performs the exchanging (delivering) processing of a new cryptographic key by using the security function of a wide-area network. When old cryptographic key information and new cryptographic key information coexist in SA database 24a and 24b, the newest cryptographic key information is selected by referring to a time stamp.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-217896

(P2002-217896A)

(43)公開日 平成14年8月2日 (2002.8.2)

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>  
H 04 L 9/16  
G 06 F 12/14  
G 09 C 1/00  
H 04 L 9/10

識別記号

3 2 0

6 4 0

F I

G 06 F 12/14

G 09 C 1/00

H 04 L 9/00

テ-マコ-ト(参考)

3 2 0 B 5 B 0 1 7

3 2 0 F 5 J 1 0 4

6 4 0 Z

6 4 3

6 2 1 A

審査請求 未請求 請求項の数12 OL (全 12 頁)

(21)出願番号 特願2001-15078(P2001-15078)

(22)出願日 平成13年1月23日 (2001.1.23)

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 星田 昌昭

神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1  
号 松下通信工業株式会社内

(74)代理人 100105050

弁理士 鶴田 公一

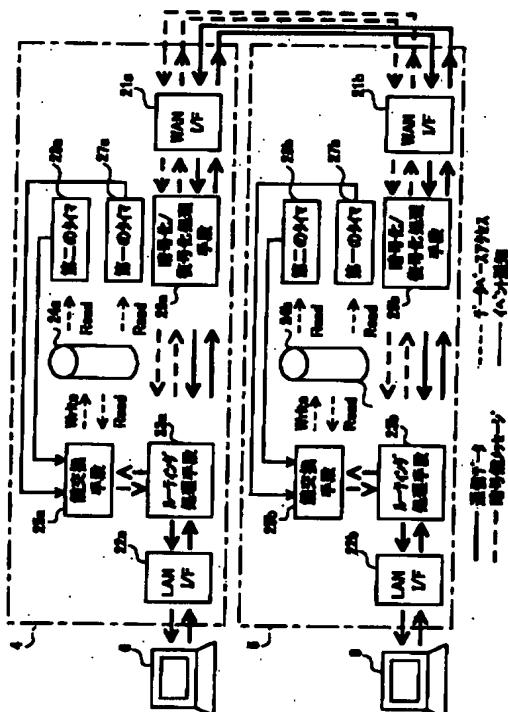
F ターム(参考) 5B017 AA03 AA08 BA07 BB09 BB10  
5J104 AA01 AA11 AA16 AA34 EA04  
EA17 NA02 PA07

(54)【発明の名称】 暗号通信方法およびゲートウェイ装置

(57)【要約】

【目的】 インターネット等の標準的なプロトコルを利用しつつ、1つのセッション中における暗号鍵の交換を可能として、通信データの機密性・秘匿性を確保すること。

【解決手段】 一つのセッション中における暗号鍵の有効期間を定めておく。そして、第1のタイマ27a, 27b等を用いて通信時間の管理を行う。暗号鍵の有効期間の満了が近づくと、鍵交換手段25a, 25bが広域ネットワークのセキュリティ機能を利用して、新たな暗号鍵の交換(配送)処理を行う。SAデータベース24a, 24bに、旧暗号鍵情報と新暗号鍵情報とが併存している場合には、タイムスタンプを参照して最新の暗号鍵情報を選択する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 広域ネットワークを介して暗号通信を行う場合に、一つのセッションにおける暗号鍵の有効期間を定めておき、通信時間の管理を行ない、前記暗号鍵の前記有効期間の満了が近づくと、旧暗号鍵と新暗号鍵が一定時間並存するように、前記広域ネットワークのセキュリティ機能を利用して、新たな暗号鍵の交換処理を行うことを特徴とする暗号通信方法。

【請求項2】 旧暗号鍵と新暗号鍵が併存している場合には、最新の暗号鍵を選択して暗号化または復号化を行うようにしたことを特徴とする請求項1記載の暗号通信方法。

【請求項3】 暗号化処理を施したパケットを通信する暗号通信方法であって、

送信側と受信側の各々に鍵情報を格納する鍵情報データベースを設け、それぞれの鍵情報データベースを参照して鍵情報を取得し、暗号化および復号化を行うと共に、前記鍵情報にはタイムスタンプが含まれるようにし、予め、一つのセッションにおける前記鍵の有効期間を定めておき、

前記セッションの時間管理を実施し、前記セッションの時間が前記鍵の有効期間を越える場合には、前記鍵の有効期間の満了前の所定期間において、送信側から受信側に新たな鍵の配達処理を行って、受信側および送信側のそれぞれにおける前記鍵情報データベースに新たな鍵情報を構築し、

前記新たな鍵情報の構築により、前記セッションに対して古い鍵情報と新たな鍵情報とが併存することとなった場合に、前記鍵情報に含まれる前記タイムスタンプを参照して、最新のタイムスタンプを含む鍵情報を選択するようにし、

これにより、前記セッションの途中で、セッション時間の管理に基づく鍵情報の更新処理を行うようにしたことを特徴とする暗号通信方法。

## 【請求項4】 請求項3において、

前記鍵情報は少なくとも、暗号鍵および暗号化アルゴリズムの情報を有することを特徴とする暗号通信方法。

## 【請求項5】 請求項3において、

前記セッションに対する古い鍵情報について有効期間が満了した場合には、その古い鍵情報を、送信側および受信側の前記鍵情報データベースから削除することを特徴とする暗号通信方法。

【請求項6】 暗号化処理を施したパケットを通信する暗号通信方法であって、

送信側と受信側の各々に鍵情報を格納する鍵情報データベースを設け、それぞれの鍵情報データベースを参照して鍵情報を取得し、暗号化および復号化を行うと共に、前記鍵情報には、送信先を特定するための情報と、暗号鍵および暗号アルゴリズムの情報と、タイムスタンプとが含まれるようにし、

予め、一つのセッションにおける前記鍵の有効期間を定めておき、

前記セッションの時間管理を実施し、前記セッションの時間が前記鍵の有効期間を越える場合には、前記鍵の有効期間の満了前の所定期間において、送信側から受信側に新たな鍵の配達処理を行って、受信側および送信側のそれぞれにおける前記鍵情報データベースに新たな鍵情報を構築し、

送信側が暗号化されたパケットを送信する場合には、送信先を特定するための情報をキーとして、送信側の前記鍵情報データベースを検索して該当する鍵情報を取得するものとし、前記鍵情報データベースの検索の結果として該当する鍵情報が2以上存在した場合には、タイムスタンプを参照して最新の鍵情報を選択するようにし、選択された鍵情報に含まれる前記暗号鍵および暗号アルゴリズムの情報を用いて送信パケットの暗号化を行うと共に、前記選択された鍵情報を示す識別番号を前記送信パケットのヘッダに記載して、その送信パケットを受信側に送信し、

20 受信側では、送られてきたパケットのヘッダに記載されている前記鍵情報を示す識別番号を参照して、受信側における前記鍵情報データベースを検索し、前記識別番号に該当する鍵情報を取得し、その鍵情報に含まれている前記暗号鍵および暗号アルゴリズムの情報を用いて、パケットの復号化を行なうようにし、これにより、一つのセッションの途中で、セッション時間の管理に基づく鍵情報の更新処理を行うことを可能としたことを特徴とする暗号通信方法。

【請求項7】 広域ネットワークを介した暗号通信を行う機能をもつ暗号ゲートウェイ装置であって、

前記広域ネットワークを介して暗号鍵情報を交換するための鍵交換手段と、

暗号鍵に関する情報を蓄積する暗号鍵データベースと、暗号鍵の有効期限までの残り時間が所定時間以下となつたことを検出して、前記鍵交換手段に通知するタイミングと、

前記暗号鍵データベースを参照して必要な暗号鍵情報を取得し、その暗号鍵情報を用いて暗号化および復号化を行う暗号化／復号化手段と、を具備し、

40 前記鍵交換手段は、前記タイミングからの通知を受けると、通信先から新たな暗号鍵情報を入手して前記暗号鍵データベースに登録し、

また、前記暗号化／復号化手段は、前記暗号鍵データベースを参照した結果、一つのセッションに関して2以上の暗号鍵情報が存在する場合には、最新の暗号鍵情報を用いて暗号化または復号化を行うことを特徴とするゲートウェイ装置。

【請求項8】 広域ネットワークを介した暗号通信を行う機能をもつゲートウェイ装置であって、

50 前記広域ネットワークを介して暗号鍵情報を交換するた

めの鍵交換手段と、暗号鍵に関する情報を蓄積する暗号鍵データベースと、暗号鍵の有効期限までの残り時間が所定時間以下となつたことを検出して、前記鍵交換手段に通知する第1のタイマと、

暗号鍵の有効期限が満了したことを検出して、前記鍵交換手段に通知する第2のタイマと、前記暗号鍵データベースを参照して必要な暗号鍵情報を取得し、その暗号鍵情報を用いて暗号化および復号化を行う暗号化／復号化手段と、を具備し、

前記鍵交換手段は、前記第1のタイマから通知を受けると、通信先との間で暗号鍵情報の交換を行って、前記通信先の前記暗号鍵データベースに新たな鍵情報を登録させ、また、前記第2のタイマから通知を受けると、通信先との間でメッセージの交換を行って、前記通信先の前記暗号鍵データベースから、有効期限が満了した暗号情報を削除させ、

また、前記暗号化／復号化手段は、一つのセッションに関して2以上の暗号鍵情報が存在する場合には、最新の暗号鍵情報を用いて暗号化または復号化を行うことを特徴とするゲートウェイ装置。

【請求項9】 請求項7または請求項8において前記暗号化／復号化手段は、IP (Internet Protocol) における認証ヘッダ (Authentication Header) に準じる、もしくは同等の手段とアルゴリズムで、認証値算出処理または改ざん検出処理を行うことを特徴とするゲートウェイ装置。

【請求項10】 請求項7または請求項8において、前記の暗号化処理を施す暗号化／復号化手段は、IP (Internet Protocol) における暗号ペイロード (Encapsulation Security Payload) に準じる、もしくは同等の手段とアルゴリズムで、暗号化処理または復号化処理を行うことを特徴とするゲートウェイ装置。

【請求項11】 広域ネットワークを介した暗号通信を行う機能をもつゲートウェイ装置であつて、前記広域ネットワークを介して暗号鍵情報を交換するための鍵交換手段と、

暗号鍵に関する情報を蓄積する暗号鍵データベースと、暗号鍵の有効期限までの残り時間が所定時間以下となつたことを検出して、前記鍵交換手段に通知するタイマと、

前記暗号鍵データベースを参照して必要な暗号鍵情報を取得し、その暗号鍵情報を用いて暗号化および復号化を行う暗号化／復号化手段と、を具備し、

前記鍵交換手段は、前記タイマからの通知を受けると、通信先との間で暗号鍵情報の交換を行い、前記通信先の前記暗号鍵データベースに新たな鍵情報を登録させて暗号鍵情報の更新処理を行い、

前記暗号化／復号化手段は、送信パケットの暗号化を実行する場合には、まず、通信先を特定するための情報をキーとして、前記鍵情報データベースを検索して該当する鍵情報を取得し、前記鍵情報データベースの検索の結果として該当する鍵情報が2以上存在した場合には、前記鍵情報に含まれるタイムスタンプを参照して最新の鍵情報を選択するようにし、選択された鍵情報に含まれる暗号鍵および暗号アルゴリズムの情報を用いて送信パケットの暗号化を行うと共に、前記選択された鍵情報を示す識別番号を前記送信パケットのヘッダに記載し、

また、前記暗号化／復号化手段は、受信したパケットの復号化処理を行う場合には、受信パケットのヘッダに記載されている前記鍵情報を示す識別番号を参照して、前記鍵情報データベースを検索し、前記識別番号に該当する暗号鍵情報を取得し、その暗号鍵情報に含まれている前記暗号鍵および暗号アルゴリズムの情報を用いて、パケットの復号化を行なうようにし、

これにより、一つのセッションの途中で、セッション時間の管理に基づく鍵情報の更新処理を行うことを可能としたことを特徴とするゲートウェイ装置。

【請求項12】 コンピュータを、暗号鍵に関する情報を蓄積する暗号鍵データベースと、暗号鍵の有効期限までの残り時間が所定時間以下となつたことを検出するタイマと、

前記広域ネットワークを介して暗号鍵情報を交換する機能を有し、かつ、前記タイマからの通知を受けると、通信先との間で暗号鍵情報の交換を行つて前記暗号鍵データベースに新たな鍵情報を登録する鍵交換手段と、

前記暗号鍵データベースを参照して必要な暗号鍵情報を取得し、その暗号鍵情報を用いて暗号化および復号化を行い、かつ、暗号鍵情報が存在する場合には、最新の暗号鍵情報を用いて暗号化または復号化を行う暗号化／復号化手段と、

を具備する暗号ゲートウェイ装置として機能させるためのプログラムを記録していることを特徴とする記録媒体。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、通信内容の盗聴や改竄を防止するために転送データを暗号化し、ネットワークを介して通信する、暗号通信方法およびゲートウェイ装置に関する。

##### 【0002】

【従来の技術】 ネットワークを介してデータ交換を行う通信システムにおいては、盗聴者に転送データの盗聴・改竄を行わせないために、通信内容を暗号化したり、データの完全性をチェックする情報を付加するなどして、セキュリティ機能を強化してきた。

【0003】 現在、インターネットにおいては、標準プロトコルを規定するRFC(Request For Comment)にて、イ

ンターネットの基盤を担うプロトコルであるIP(Internet Protocol)に暗号化や認証機能を付加したIPsecが、セキュリティプロトコルとして規定されている。併せて、暗号化や認証に必要な鍵交換を行うプロトコルであるIKE(Internet Key Exchange)も規定されている。

【0004】ローカルネットワーク（構内ネットワークやホームネットワーク等）と、インターネットのような広域ネットワークとの間のインターフェースとして機能するゲートウェイ装置は、暗号通信プロトコルに対応しているのが通常であり、暗号機能をもつゲートウェイ装置（暗号ゲートウェイ装置）を用いれば、広域ネットワークを介した暗号通信を容易に行うことができる。

【0005】暗号化を行うことによって、短時間のセッションに対する機密性・秘匿性が確保されることになる。

#### 【0006】

【発明が解決しようとする課題】例えば、仮想専用線として定常的に維持されるセッション群や、数時間に及ぶ映像配信のようなセッションに対する機密性・秘匿性の確保には、暗号鍵の定期的な更新が必要となる。

【0007】しかしながら、暗号鍵の更新の際には、一時的に通信内容を暗号化するための通信チャネル（暗号化鍵のデータを含む鍵情報；以下、Security Association:SAと呼ぶ）が解放される。よって、暗号鍵を更新している期間のセキュリティは保証されないことになり、そのセッションに対する通信データの機密性・秘匿性が低下する。

【0008】さらに、ネットワークの常時接続サービスが普及しつつある昨今においては、映像ストリーム系アプリケーションを定常的に維持しつつ、数時間という単位での鍵交換による秘匿性の確保が、ユーザ側からの要望としてあるものと考えられる。

【0009】現状のインターネットのセキュリティ機能は、1つのセッション中に暗号鍵を交換することには対応できていない。1つのセッション中に暗号鍵を更新するために、セキュリティ機能の規格を変更することも考えられるが、広域ネットワークの汎用性を考慮すると、多くの困難が予想される。

【0010】本発明は、このような考察に基づいてなされたものであり、その目的は、インターネット等の標準的なプロトコルを利用しつつ、1つのセッション中における鍵交換を可能として、通信データの機密性・秘匿性を確保することにある。

#### 【0011】

【課題を解決するための手段】本発明では、一つのセッションにおける暗号鍵の有効期間を定めておき、通信時間の管理を行ない、暗号鍵の有効期間の満了が近づくと、広域ネットワークのセキュリティ機能を利用して、新たな暗号鍵の交換（配送）処理を行う。そして、旧暗号鍵と新暗号鍵が併存している場合には、最新の暗号鍵

を選択することとする。

【0012】これにより、1つのセッション中において、スムーズな暗号鍵の更新を実現できる。また、通信時間の管理を行うと共に、暗号化鍵が併存する場合には、最新のものを選ぶという簡単な機能を付加するだけでよいため、実現が容易である。

【0013】本発明の暗号通信方法の一つの態様では、送信側と受信側の各々に鍵情報を格納する鍵情報データベースを設け、それぞれの鍵情報データベースを参照して

10 鍵情報を取得し、暗号化および復号化を行うと共に、前記鍵情報にはタイムスタンプが含まれるようにし、予め、一つのセッションにおける前記鍵の有効期間を定めておき、前記セッションの時間管理を実施し、前記セッションの時間が前記鍵の有効期間を越える場合には、前記鍵の有効期間の満了前の所定期間において、送信側から受信側に新たな鍵の配送処理を行って、受信側および送信側のそれぞれにおける前記鍵情報データベースに新たな鍵情報を構築し、前記新たな鍵情報の構築により、前記セッションに対して古い鍵情報と新たな鍵情報とが併存することとなった場合に、前記鍵情報に含まれる前記タイムスタンプを参照して、最新のタイムスタンプを含む鍵情報を選択するようにする。これによって、セッションの途中で、セッション時間の管理に基づく鍵情報の更新処理をスムーズに行うことができる。

#### 【0014】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について、図面を参照して説明する。

【0015】図2は、本発明を適用する暗号通信システムの全体構成を示す図である。図2において、広域ネットワーク1（Wide Area Network:WANと記載する）は、離れた拠点間の構内ネットワークを接続し、異なる拠点間でデータの交換が行われている通信ネットワークである。

【0016】構内ネットワーク2, 3（以下、Local Area Network:LANと呼ぶ）はパソコンコンピュータやワークステーションなどの通信端末やブリッジ、スイッチなどの様々な通信機器が同軸ケーブルにより接続されており、構内の通信端末間や構内の通信端末と異なる拠点の通信端末との間のデータの交換が行われている通信ネットワークである。なお、本実施の形態では、構内ネットワークを例にして説明するが、これに限定されるものではない。例えば、家庭内に構築されるホームネットワークでもよい。

【0017】ゲートウェイ装置4, 5は、例えば、LAN2に接続された通信端末から、離れた拠点のLAN3に接続された通信端末へデータを送る際に、LANとWANとを接続するルータ、ターミナルアダプタなどのインターフェース装置である。ゲートウェイ装置4, 5は、暗号化/復号化機能を有する暗号ゲートウェイ装置である。

【0018】また、通信端末6, 7, 8, 9, 10, 11は、LANやWANを介してデータの交換を行うパソコンやワークステーションなどである。傍受端末12は、LANを介してデータ交換を行う通信端末間の通信データを、そのデータが転送される途中で傍受して通信内容を解読する機能を有するパソコンやワークステーションなどである。

【0019】次に、ゲートウェイ装置の基本的な構成について、図1を用いて説明する。図1は、ゲートウェイ装置4, 5の内部構成例を示す図である。図1のシステムでは、端末6と、端末9との間で暗号通信を行うものとする。

【0020】図示されるように、ゲートウェイ装置4, 5はそれぞれ、WANとの間でデータのやりとりを行うWANインターフェース21a, 21bと、LANとの間でデータのやりとりを行うLANインターフェース22a, 22bと、通信データが格納されているパケットのヘッダ内部の宛先アドレスにより転送先を決定するルーティング処理手段23a, 23bとを有する。

【0021】さらに、ゲートウェイ装置4, 5はそれぞれ、セッション毎の暗号化アルゴリズムと暗号鍵が格納されているセキュリティアソシエーション・データベース(SAデータベース)24a, 24bと、セッション毎の暗号化アルゴリズムと暗号鍵を送信元、もしくは送信先ゲートウェイと折衝し、その情報をSAデータベース24a, 24bに書き込む鍵交換手段25a, 25bを有する。

【0022】また、さらに、ゲートウェイ装置4, 5はそれぞれ、WANインターフェース21a, 21bを介して通信するパケットに対して、当該ゲートウェイ装置からWANへ送信するパケットについては、SAデータベース24a, 24bに基づき暗号化処理を行い、一方WANから当該ゲートウェイ装置が受信したパケットについては、SAデータベースに基づき復号化処理を行う暗号化/復号化処理手段26a, 26bを有する。

【0023】また、さらに、ゲートウェイ装置4, 5はそれぞれ、セッション毎のSAの有効時間を管理し、有効時間満了を契機としてSA解放を鍵交換手段25a, 25bへ通知する第1のタイマ27a, 27bと、セッション毎のSAの有効時間を管理し、有効時間満了に先立って、SA確立を鍵交換手段25a, 25bへ通知する第2のタイマ28a, 28bを有する。

【0024】また、図1において、太い実線は通信データを示し、太い点線は暗号鍵メッセージを示し、細い実線はイベント通知を示し、細い点線はデータベースアクセスを示す。

【0025】以下、図1に示すゲートウェイ装置を用いた、暗号通信動作について説明する。図3に、主要な手順(の概要)をまとめて示している。

【0026】つまり、図3に記載されるように、暗号通

信を行うに際して、まず、送信側では、暗号鍵情報のチャネルであるセキュリティアソシエーション(SA)を確立し(つまり、暗号鍵の交換処理を行い)、送信側のSAデータベースに鍵情報を書き込む(ステップ40)。

【0027】次に、送信側では、送信先の情報をキーとして自己のSAデータベースを検索して、合致するSA情報(暗号鍵、暗号化アルゴリズム、タイムスタンプを含む暗号鍵情報)を探し出し、該当する暗号鍵と暗号化アルゴリズムを用いて、送信データ(送信パケット)を暗号化して送信する。このとき、送信パケットのヘッダの一部に、SAの識別情報(SAID)を記載する。受信側では、パケットのヘッダに記載されているSAIDを参照して、自己のSAデータベースを検索し、暗号化鍵情報を取得し、受信データの復号化を行う(ステップ41)。

【0028】セッションが開始されると、送信側にて、第1のタイマを用いたSAの有効期限管理(暗号鍵情報の有効期限の管理)を行い、期限の満了前の所定の時間となると、第1のタイマが鍵交換手段にこれを通知する(ステップ42)。

【0029】通知を受けた鍵交換手段は、SAを再度、確立し、これにより、送信側および受信側双方のSAデータベースに新たな暗号鍵情報が記録され、SAデータベースが更新される(ステップ43)。

【0030】そして、送信側では、送信先の情報およびタイムスタンプをキーとしてSAデータベースを検索する。このとき、一つのセッションに対して、SAデータベース中に2つ(2以上)のSA情報(暗号鍵情報)が存在するときは、タイムスタンプが最新のものを選ぶという条件の下で、SAデータベースを検索する。そして、合致する暗号鍵と暗号化アルゴリズムを用いて送信データを暗号化し、送信パケットのヘッダに鍵情報の識別番号(SAID)を記載して送信する。受信側では、パケットのヘッダに記載されているSAIDを参照して、復号化を行う(ステップ44)。そして、古い暗号鍵の有効期間が満了すると、SAを解放して古い暗号鍵情報を削除する・つまり、一つのセッションにおける暗号鍵の有効期間を定めておき、通信時間の管理を行ない、暗号鍵の有効期間の満了が近づくと、広域ネットワークのセキュリティ機能を利用して、新たな暗号鍵の交換(配達)処理を行う。そして、旧暗号鍵と新暗号鍵が併存している場合には、送信側にて最新の暗号鍵を選択して暗号化を行い、その暗号化鍵のID(SAID)をパケットに添付するだけである。受信側では、従来とまったく同じように、SAIDを参照してSAデータベースを検索して復号化を行えばよい。

【0031】これにより、1つのセッション中において、スムーズな暗号鍵の更新を実現できる。また、通信時間の管理を行うと共に、暗号化鍵が併存する場合に

は、最新のものを選ぶという簡単な機能を付加するだけよいため、実現がきわめて容易である。

【0032】図4に示すように、本実施の形態では、一つのセッション中において、最初は”SAID1”の暗号鍵情報が有効である。そして、暗号鍵の有効期限である時刻t2より、一定時間T1だけ前の時点t1になると、新たなSAが確立されて”SAID3”の暗号鍵情報が有効となる。この時点で、”SAID1”の暗号鍵情報は、SAデータベースには存在するものの、暗号化／復号化には使用されず、実質的に無効な状態となる。そして、時刻t2になると、古いSAは解放されて、”SAID1”の暗号鍵情報はSAデータベースより削除される。このようにして、一つのセッション中において、スムーズに、しかも簡単に、暗号鍵の切り換えを行うことができる。

【0033】以下、図1、図5、図6および図7～図9を用いて、より具体的に説明する。

【0034】図7(a)、図8(a)、図9(a)は、本実施の形態における、パケット送信側ゲートウェイ装置の暗号化処理に必要となるSAデータベースの中身を示すものである。図7(a)は、セッション開始当初のSA情報であり、図8(a)は、暗号鍵の有効期間の満了が近づいてきて、新たなSAと古いSAが併存している状態におけるSA情報であり、図9(a)は、古い暗号鍵の有効期間が満了して、古いSAが解放された状態におけるSA情報を示している。

【0035】図示されるように、SA情報(暗号鍵情報)は、セキュリティアソシエーション(暗号鍵に関する情報)を識別するSAID、送信元アドレス、送信元ポート番号、送信先アドレス、送信先ポート番号、暗号化アルゴリズム、暗号鍵、タイムスタンプで構成される。

【0036】また、図7(b)、図8(b)、図9(b)は、本発明の実施の形態におけるパケット受信側ゲートウェイ装置の復号化処理に必要となるSAデータベースの内容(SA情報)であり、それぞれ、図7(a)、図8(a)、図9(a)に対応している。SA情報は、セキュリティアソシエーションを識別するSAID、暗号化アルゴリズム、暗号鍵を含んで構成されている。

【0037】本実施の形態において、図7(a)、(b)におけるSAデータベースは、送信元アドレス、送信元ポート番号、送信先アドレス、送信先ポート番号、暗号化アルゴリズムを保守手順により初期設定した後、ゲートウェイ装置4、5における鍵交換手段により交換されたSAID、暗号鍵、その時点でのタイムスタンプにより構築されたものとする。

【0038】次に、図1に示される端末6から端末9にに対して確立されたセッションにおいて、端末6から端末9へ送信される通信データの暗号化と復号化の一連の流

れを具体的に説明する。

【0039】図1において、端末6から端末9への宛先アドレス、当該セッションに対応したポート番号が指定され、送信されたパケットは、構内ネットワーク2を介して、ゲートウェイ装置4に到着する。

【0040】パケットは、ゲートウェイ装置4において、LANインターフェース22aを経由し、ルーティング処理手段23aにより広域ネットワーク1へ転送するパケットと判断され、暗号化／復号化処理手段26aへ転送される。

【0041】暗号化／復号化処理手段26aにおいては、図7(a)におけるSAデータベースを参照し、前記パケットのヘッダ部分に記載されている送信先アドレスと送信先ポート番号をキーに一致するSAを検索し、そのSAの暗号化アルゴリズムと暗号鍵により暗号化を行い、ヘッダの一部に該当するSAIDを記載する。その後、パケットは暗号化／復号化処理手段26aからWANインターフェース21aを経由して、広域ネットワーク1へ転送される。

【0042】さらに、パケットはゲートウェイ装置5へ転送され、WANインターフェース21bを介して、暗号化／復号化処理手段26bへ転送される。暗号化／復号化処理手段26bにおいては、図6におけるSAデータベースを参照し、受信したパケットのヘッダに記載されたSAIDと一致するSAを検索し、そのSAの暗号化アルゴリズムと暗号鍵により復号化を行う。

【0043】その後、前記パケットは暗号化／復号化処理手段26bからルーティング処理手段23bとLANインターフェース22bを経由し、構内ネットワーク3を介して端末9に転送される。

【0044】このように、ゲートウェイ装置4、5との間で暗号化／復号化処理が施されることにより、広域ネットワーク1において暗号化通信が実現される。これにより、傍受端末12に対する機密性・秘匿性を確保する。

【0045】次に、端末6から端末9のセッションに対するSA有効時間満了に先立ち、そのセッションに対する新たなSAを確立し、その後の通信データの暗号化と復号化の一連の流れを説明する。

【0046】ゲートウェイ装置4における第2のタイムスタンプ28aは、SAデータベース24のセッション毎のタイムスタンプを定期的に参照し、SAのタイムスタンプと固定的なSAの有効時間と現在の時刻とにより、SAの有効時間満了までの残余時間が一定時間以下であった場合に、そのSAの送信元アドレス、送信元ポート番号、送信先アドレス、送信先ポート番号、暗号化アルゴリズムを含むSA確立指示を鍵交換手段25aへ通知する。

【0047】鍵交換手段25aは、セッション鍵交換手順に基づくメッセージを生成した後、パケットヘッダの宛先アドレスに対応となるゲートウェイアドレス(この

場合、ゲートウェイアドレスは、ゲートウェイ装置5となる)を記載し、ルーティング処理手段23aと暗号化/復号化処理手段26aとWANインタフェース21aを経由して、広域ネットワーク1に転送される。(なお、暗号化/復号化処理手段26aにおいては、必ずしも暗号化されなくてもよい。)さらに、前記セッション鍵交換手順に基づくメッセージを含むパケットはゲートウェイ装置5へ転送され、WANインタフェース21b、暗号化/復号化処理手段26bとルーティング処理手段23bを介して、鍵交換手段25bへ転送され、セッション鍵交換手順に基づき、そのセッションに対する新たなSAが確立され、ゲートウェイ装置4、5のSAデータベースは、図8(a)、(b)へと更新される。

【0048】その後、端末6から端末9への宛先アドレス、そのセッションに対応したポート番号が指定され、送信されたパケットは、先に説明した動作により、構内ネットワーク2を介してゲートウェイ装置4に到着する。

【0049】パケットは、ゲートウェイ装置4において、LANインタフェース22aを経由し、ルーティング処理手段23aにより広域ネットワーク1へ転送するパケットと判断され、暗号化/復号化処理手段26aへ転送される。暗号化/復号化処理手段26aにおいては、図8(a)におけるSAデータベースを参照し、パケットのヘッダ部分に記載されている「送信先アドレス」と「送信先ポート番号」と一致するSAであり、かつ、「タイムスタンプが最新であるSA」を検索し、そのSAの暗号化アルゴリズムと暗号鍵により暗号化を行い、ヘッダの一部に該当するSAIDを記載する。

【0050】その後、先に説明したのと同様な動作により、パケットはゲートウェイ装置5へ転送され、WANインタフェース21bを介して、暗号化/復号化処理手段26bへ転送される。

【0051】暗号化/復号化処理手段26bにおいては、図8(b)におけるSAデータベースを参照し、先に説明した動作と同様に、受信したパケットのヘッダに記載されたSAIDと一致するSAを検索し、当該SAの暗号化アルゴリズムと暗号鍵により復号化を行い、ルーティング処理手段23bとLANインタフェース22bを経由し、構内ネットワーク3を介して端末9に転送される。

【0052】このように、ゲートウェイ装置4における暗号化/復号化処理手段26aにて、一部の処理を追加するのみで、新たなSAへの対応が可能になる。

【0053】次に、端末6から端末9のセッションに対するSA有効時間満了による、セッションに対するSAの解放処理について説明する。

【0054】ゲートウェイ装置4における第1のタイム27aは、SAデータベース24のセッション毎のタイムスタンプを定期的に参照し、SAのタイムスタンプと

固定的なSAの有効時間と現在の時刻とにより、SAの有効時間満了を算出する。そして、満了であった場合に、当該SAのSAID、送信元アドレス、送信元ポート番号、送信先アドレス、送信先ポート番号、暗号化アルゴリズムなどを含むSA解放指示を鍵交換手段25aへ通知する。

【0055】鍵交換手段25aは、セッション鍵交換手順に基づくメッセージを生成した後、パケットヘッダの宛先アドレスに対向となるゲートウェイアドレス(この10場合、ゲートウェイアドレスは、ゲートウェイ装置5となる)を記載し、ルーティング処理手段23aと暗号化/復号化処理手段26aとWANインタフェース21を経由して、広域ネットワーク1に転送される。(なお、暗号化/復号化処理手段26aにおいては、必ずしも暗号化されなくてもよい。)さらに、セッション鍵交換手順に基づくメッセージを含むパケットは、ゲートウェイ装置5へ転送され、WANインタフェース21b、暗号化/復号化処理手段26bとルーティング処理手段23bを介して、鍵交換手段25bへ転送され、セッション20鍵交換手順に基づき、当該セッションに対するSAを解放し、ゲートウェイ装置4、5のSAデータベースは、図9(a)、(b)のように更新される。

【0056】以上説明したように、本実施の形態においては、あるセッションに対する通信内容を暗号化するための通信チャネルであるセキュリティアソシエーションを確立している段階において、セキュリティアソシエーションの有効時間満了までの残余時間が一定時間以下であった場合に、暗号鍵交換手段に対して、そのセッションに対する新たなセキュリティアソシエーションを確立30する指示を出すタイマを有し、そのセッションに対する新たなセキュリティアソシエーションを確立すると共に、そのゲートウェイ装置の暗号化処理を施す暗号化/復号化処理手段は、あるセッションに対して、複数のセキュリティアソシエーションが存在する場合には、最新のセキュリティアソシエーションを使用して暗号化処理を行うことにより、新たなセキュリティアソシエーションへの移行が容易になるという利点を有する。

【0057】すなわち、一つのセッションに対して、複数のセキュリティアソシエーションが存在する場合に40は、最新のセキュリティアソシエーションを使用して暗号化処理を行うことにより、定期的なセッション鍵の交換を行いつつ、定常的かつ連続的にやりとりされるデータの機密性・秘匿性を確保することを容易に実現できるという効果が得られる。

【0058】以上説明した暗号化通信における、送信側の動作をまとめると図5のようになる。

【0059】すなわち、まず、鍵交換プロトコル(IKE)に基づき、1つのセッションに対するセキュリティアソシエーション(SA)を確立し、暗号鍵の情報(メッセージ)を通信先に送り、通信先のSAデータベース50

にSA情報を蓄積する（鍵交換動作）（ステップ50）。

【0060】次に、セッションを確立し、パケットを暗号化し、パケットのヘッダにSAIDを付与して送信する（暗号化通信動作）（ステップ51）。

【0061】次に、SAデータベースのセッション毎のタイムスタンプを定期的に参照し、現在の時刻と、予め定められているSA有効期間とを用いてSA有効期限の管理を行う（SA有効期限管理動作）（ステップ52）。

【0062】次に、SAの有効期限が近づくと、新しいセキュリティアソシエーションを確立し、新たな暗号鍵の情報（メッセージ）を通信先に送る（鍵更新動作）（ステップ53）。

【0063】次に、SAデータベースを参照し、送信先アドレスと送信ポート番号が一致し、かつ、タイムスタンプが最新であるSAを検索し、そのSAの暗号化アルゴリズムで暗号化を行い、そのSAのIDをパケットのヘッダに記載して送信する（暗号化通信動作）（ステップ54）。

【0064】そして、旧SAの有効期間が満了すると、そのSAを解放する（SA解放動作）（ステップ55）。

【0065】また、暗号化通信における受信側の主要な動作をまとめると、図6のようになる。

【0066】すなわち、SAデータベースを参照し、受信したパケットのヘッダに記載されているSAIDと一致するSAを検索し、そのSAの暗号化アルゴリズムと暗号鍵により復号化を行う（ステップ60）。

【0067】そして、送信側からSAの解放要求があれば、SA解放処理を行う（ステップ61）。

【0068】以上説明した暗号通信動作を実行させるためのプログラムは、例えば、図10に示すようなコンピュータシステムに適用できる。

【0069】図10のコンピュータシステムは、本体部601と、キーボード602と、ディスプレイ603と、入力装置604とを含んで構成されている。

【0070】そして、暗号通信を行うためのプログラムは、本体部601にセットされるCD-ROM607内や、本体部601が内蔵するディスク（メモリ）606内、あるいは、回線608で接続された他のシステムのディスク605内に格納される。

【0071】以上の説明では、対象鍵（共通鍵）を使用した暗号化を例にとり説明しているが、これに限定されるものではない。つまり、非対称な暗号鍵（公開鍵）の交換でも、本発明を同様に適用可能である。公開鍵は、送信者もしくは受信者が、当事者のみならず第三者に対して公開されている情報のみに基づき、計算により暗号鍵（復号鍵）を生成するものである。公開鍵を使用する場合でも、セキュリティの信頼性を向上させるために

一つのセッション中に、鍵を代える必要がある場合がある。

【0072】例えば、公開鍵情報（鍵を生成する基礎となる公開されている情報）が複数用意されており、一つのセッションに途中で、復号化において使用するべき公開鍵情報を更新するという事態も想定される。このような場合の公開鍵情報の交換にも、本発明を使用することができる。

【0073】

10 【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、一つのセッションの途中において、既存の鍵交換機能を利用して容易に、かつ、シームレスに定期的なセッション鍵の交換を行うことができる。よって、定常的かつ連続的にやりとりされるデータの機密性・秘匿性を常に確保することができる。また、本発明は構成がシンプルであるため、実現が容易である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態にかかるゲートウェイ装置の構成を示すブロック図

20 【図2】広域ネットワークを介した暗号通信を行うシステムの全体構成を示す図

【図3】本発明の実施の形態における暗号通信の、全体の動作の概要を示すフロー図

【図4】本発明の実施の形態における、暗号鍵の切り換え動作を説明するための図

【図5】本発明の実施の形態における暗号通信の、送信側の主要な動作を示すフロー図

【図6】本発明の実施の形態における暗号通信の、受信側の主要な動作を示すフロー図

30 【図7】（a）セッション開始当初における送信側のSAデータベースの内容の一例を示す図

（b）セッション開始当初における受信側のSAデータベースの内容の一例を示す図

【図8】（a）セッション鍵の交換時期における送信側のSAデータベースの内容の一例を示す図

（b）セッション鍵の交換時期における受信側のSAデータベースの内容の一例を示す図

40 【図9】（a）有効期間が満了したセキュリティアソシエーション（SA）を解放した後の、送信側のSAデータベースの内容の一例を示す図

（b）有効期間が満了したセキュリティアソシエーション（SA）を解放した後の、受信側のSAデータベースの内容の一例を示す図

【図10】コンピュータシステムの構成の一例を示す図

【符号の説明】

1 広域ネットワーク

2, 3 構内ネットワーク

4, 5 ゲートウェイ装置

6, 7, 8, 9, 10, 11 端末

50 12 傍受端末

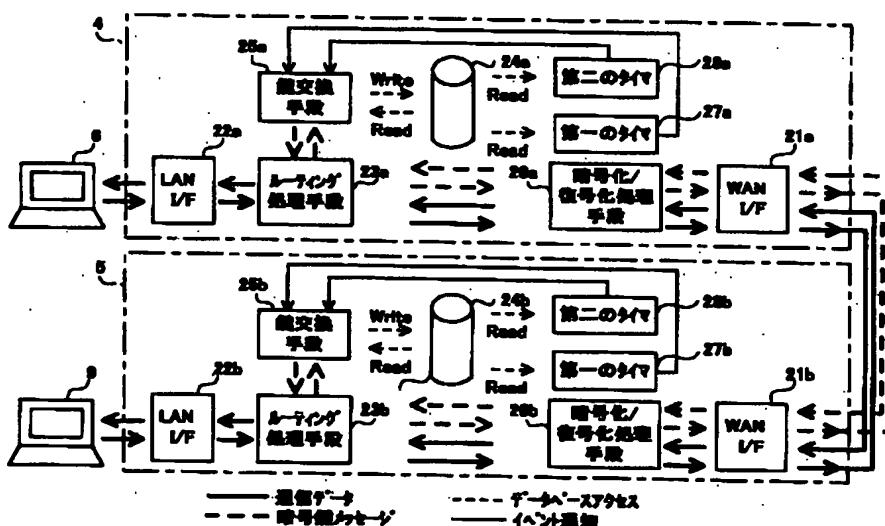
15

21a, 21b WANインターフェース  
 22a, 22b LANインターフェース  
 23a, 23b ルーティング処理手段  
 24a, 24b SA (Security Association)  
 25a, 25b 鍵交換手段  
 26a, 26b 暗号化/復号化処理手段  
 27a, 27b 第一のタイマ  
 28a, 28b 第二のタイマ  
 29a, 29b データベース  
 30a, 30b データベースアクセス  
 31a, 31b バイント通知

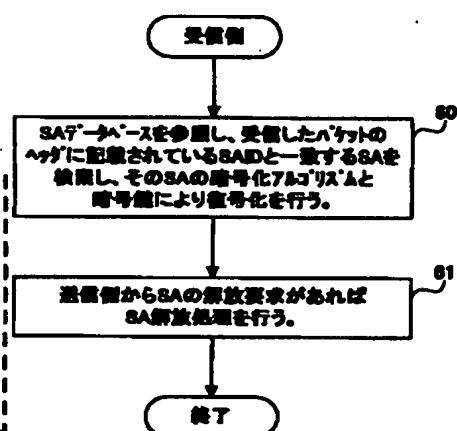
16

25a, 25b 鍵交換手段  
 26a, 26b 暗号化/復号化処理手段  
 27a, 27b 第一のタイマ  
 28a, 28b 第二のタイマ  
 29a, 29b データベース  
 30a, 30b データベースアクセス  
 31a, 31b バイント通知

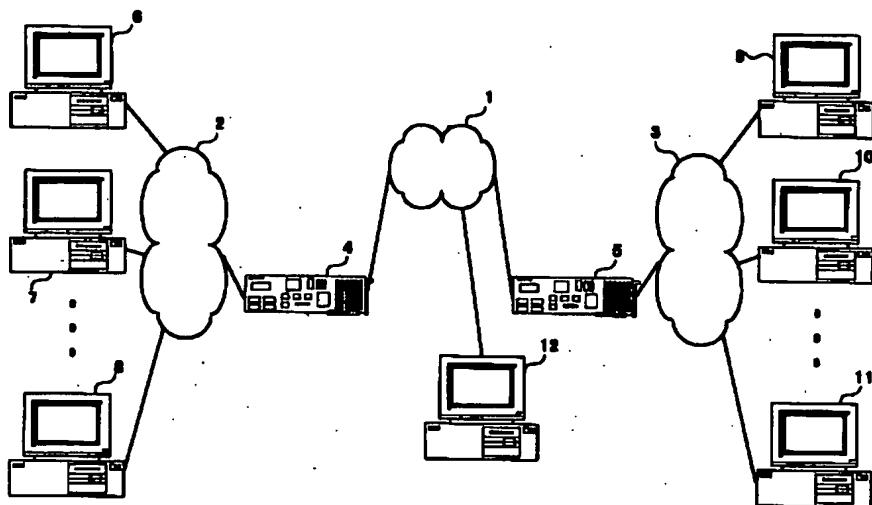
【図1】



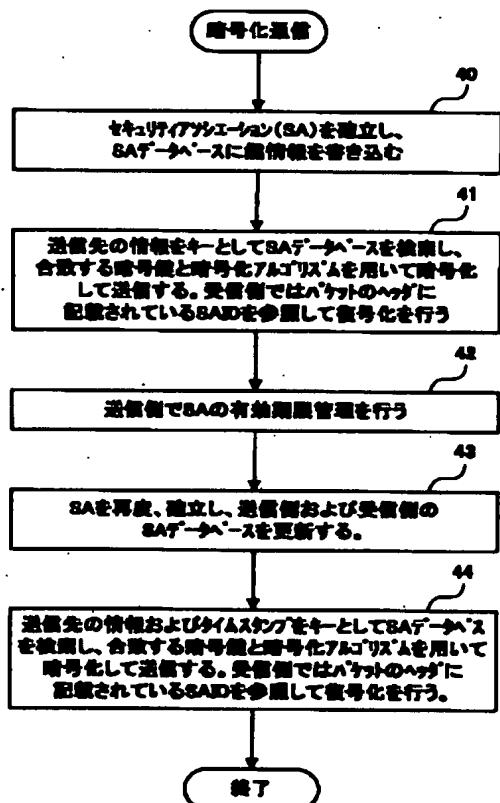
【図6】



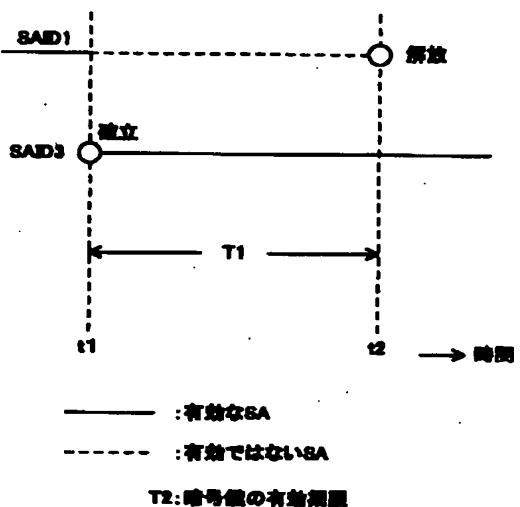
【図2】



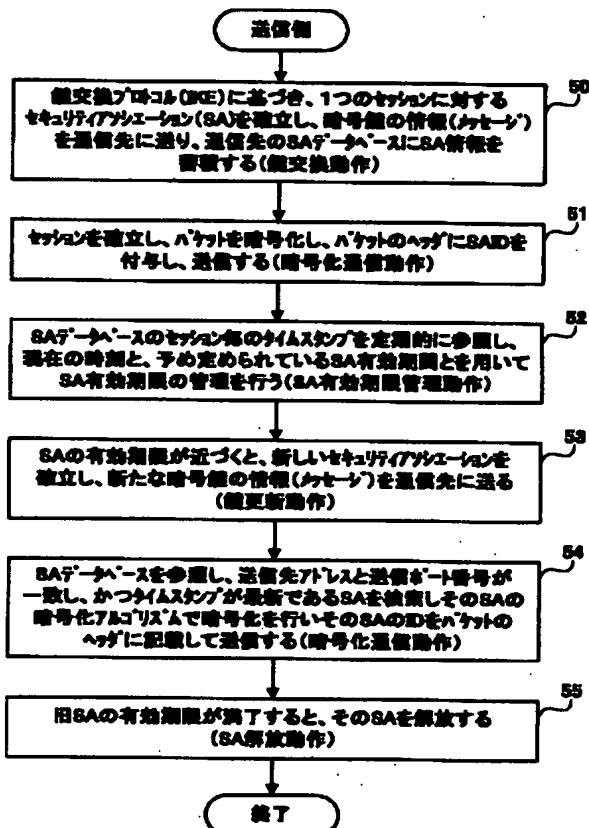
【図3】



【図4】



【図5】



【図7】

SaID	送信元アドレス	送信元ポート番号	送信先アドレス	送信先ポート番号	暗号化アルゴリズム	暗号鍵	タイムスタンプ
1	2.2.2.6 (端末 6)	8080	3.3.3.9 (端末 9)	8080	3DES	2F7E...	2000.9.25 21:12:15
2	2.2.2.7 (端末 7)	****	3.3.3.10 (端末 10)	****	DES	FF93...	2000.9.25 21:22:43
...	...	...	...	...	...	...	...

(a)

SaID	暗号化アルゴリズム	暗号鍵
1	3DES	2F7E...
2	DES	FF93...
...	...	...

(b)

【図8】

SaID	送信元アドレス	送信元ポート番号	送信先アドレス	送信先ポート番号	暗号化アルゴリズム	暗号鍵	タイムスタンプ
1	2.2.2.6 (端末 6)	8080	3.3.3.9 (端末 9)	8080	3DES	2F7E...	2000.9.25 21:12:15
2	2.2.2.7 (端末 7)	****	3.3.3.10 (端末 10)	****	DES	FF93...	2000.9.25 21:22:43
3	2.2.2.6 (端末 6)	8080	3.3.3.9 (端末 9)	8080	3DES	590A...	2000.9.25 22:12:15
...	...	...	...	...	...	...	...

(a)

SaID	暗号化アルゴリズム	暗号鍵
1	3DES	2F7E...
2	DES	FF93...
3	3DES	590A...
...	...	...

(b)

【図9】

SAID	送信元アドレス	送信元ポート番号	送信先アドレス	送信先ポート番号	暗号化アルゴリズム	暗号鍵	タイムスタンプ
1	2.2.2.7 (端末7)	*****	2.2.2.10 (端末10)	*****	DES	FFB3***	2000.9.28 21:22:43
2	2.2.2.8 (端末8)	8080	2.2.2.9 (端末9)	8080	3DES	590A***	2000.9.28 22:13:15
...	...	...	...	...	...	...	...

(a)

SAID	暗号化アルゴリズム	暗号鍵
2	DES	FFB3***
3	3DES	590A***
...	...	...

(b)

【図10】

